

2016年度
第101期
第2四半期

IR通信

2016年4月1日～2016年9月30日



株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2016年度第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復基調が続く一方、企業収益は高い水準にあるものの改善に足踏みがみられました。

建設業界におきましては、公共投資・民間設備投資とも底堅い動きが続き、受注環境はおおむね堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、営業・工事の各部門が一体となってリニューアル工事の提案営業など積極的な営業活動を展開したことや前年度からの繰越工事が順調に進捗したこと及び電柱建替等の配電線工事の増加などにより、売上高につきましては、前年同期を上回りました。

営業利益につきましては、売上高の増加に伴い売上総利益は増加したものの、販管費の増加により前年同期を下回りました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益の減少及び前年同期に計上した投資有価証券償還益がなかったことなどにより前年同期を下回りました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりでございます。

連結業績	
売上高	646億2千4百万円(前年同期比 104.8%)
営業利益	36億6千3百万円(前年同期比 91.5%)
経常利益	46億7千1百万円(前年同期比 68.8%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	30億7千3百万円(前年同期比 54.9%)

今後の経済見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、各種政策の効果もあって、国内景気は緩やかな回復を続けていくことが期待されます。一方、中国を始めとする新興国等の景気の下振れ、英国のEU離脱問題に伴う先行き不透明感、金融市場の動向などにより景気が下押しされるリスクがあります。

このような状況のもと、当社グループは、引き続きリニュー

アル工事等の提案営業を強化するとともに、中国地域における営業基盤の強化、都市圏の事業拡大及び成長戦略による事業拡大を推進し、受注の確保・拡大を図ってまいります。

また、太陽光発電設備工事の減少や都市圏の事業拡大などによる受注競争の激化に伴う利益率の低下が想定される中、当社グループ全体で原価管理の徹底や、業務の効率化・最適化を図り、利益の確保に取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループの事業に格別のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2016年12月



代表取締役会長

神出 亨

Jinde Toru

代表取締役社長

小畑 博文

Obata Hirofumi

連結決算ハイライト

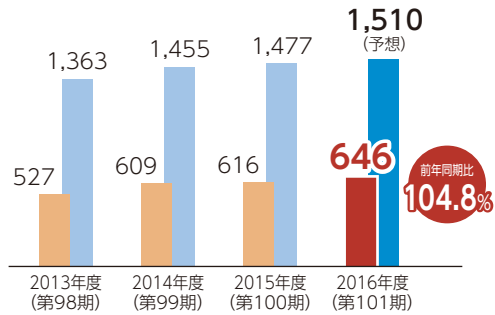
決算POINT

増収減益

繰越工事の順調な進捗や配電線工事増で増収、工事採算性の低下や販管費増で減益

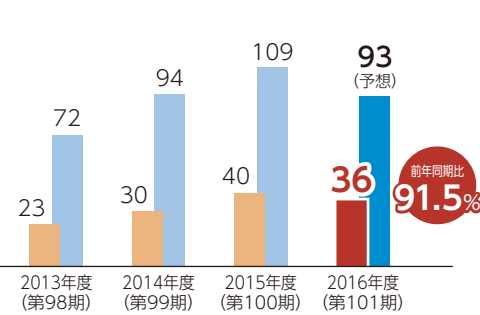
売上高

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (億円)



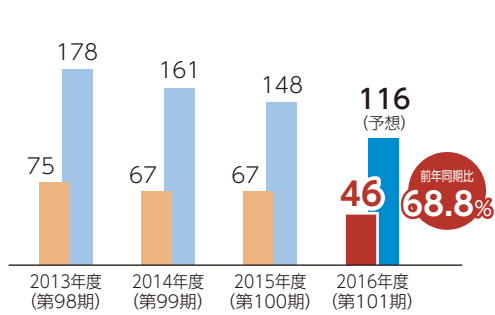
営業利益

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (億円)



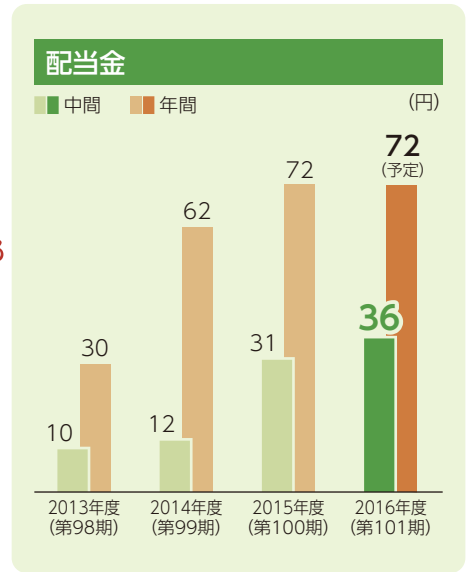
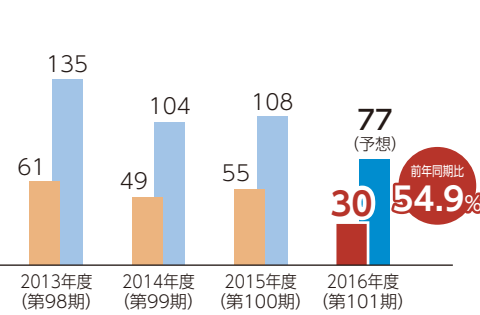
経常利益

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (億円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

■ 第2四半期(累計) ■ 通期 (億円)



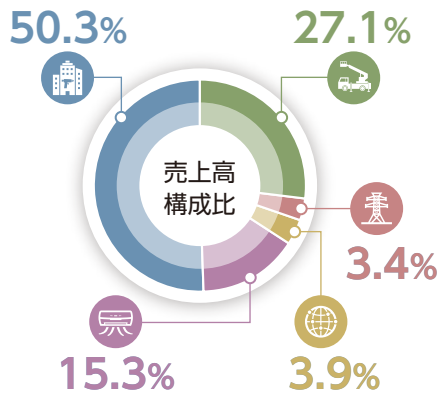
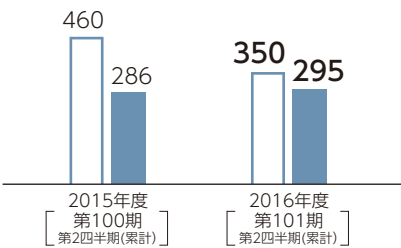
第2四半期 工事種別受注高・売上高(個別)

受注高 698億円

売上高 588億円

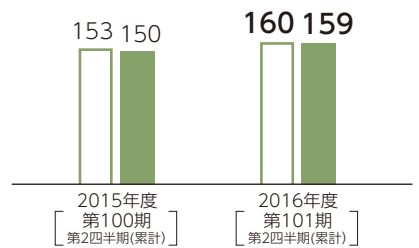
屋内電気工事

□ 受注高 ■ 売上高 (億円)



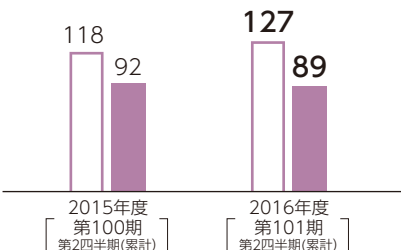
配電線工事

□ 受注高 ■ 売上高 (億円)



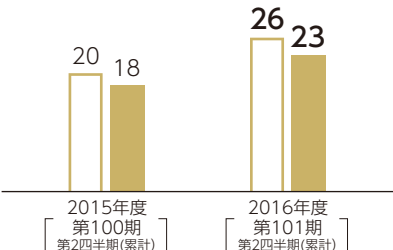
空調管工事

□ 受注高 ■ 売上高 (億円)



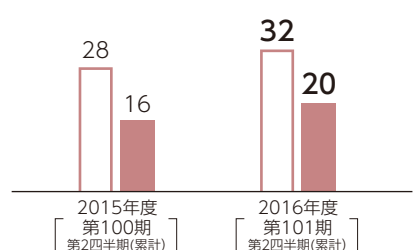
情報通信工事

□ 受注高 ■ 売上高 (億円)



発送変電工事

□ 受注高 ■ 売上高 (億円)



TOPICS

2016年4月～2016年9月

2016年
5月

JECA FAIR 2016に出展

5月25日から27日までの3日間、インテックス大阪において開催された「JECA FAIR 2016(第64回電設工業展)」に出展しました。



▲ブースの様子

今年は、展示スペースを昨年の1.5倍に拡大し、「コンセント極性試験器」や「高齢者見守りシステム(視覚的情報提供システム)」、「指定範囲監視システム(エアセーブ)」、「接地短絡判別器」などの製品を出展したほか、「危険体験システム(墜落・アーク)」のプレゼンテーションを行いました。

また「コンセント極性試験器」は、同展示会の特別催事として開催された「第55回製品コンクール」にも出展し、「一般社団法人 日本電設工業協会奨励賞」を受賞しました。



▲コンセント極性試験器

2016年
8・9月

新たなグループ企業が誕生

8月31日に杉山管工設備株式会社、9月16日に早水電機工業株式会社をそれぞれ子会社化しました。2社の概要は以下のとおりです。

2社が当社グループに加わることで、優秀な人材や協力会社の確保、優良顧客の獲得が可能となり、首都圏及び京阪神地区における設備工事の拡大やサービスの拡充が期待できます。

(1) 名称	杉山管工設備株式会社	早水電機工業株式会社
(2) 所在地	神奈川県横浜市中区	兵庫県神戸市長田区
(3) 事業内容	冷暖房設備・給排水・衛生工事	電気工事・エンジニアリング・太陽光・LED関連事業
(4) 代表者	代表取締役社長 高橋二郎	代表取締役社長 門野内幸晴
(5) 資本金	5,600万円	3,000万円



▲早水電機工業(株)の特許技術を用いた施工商品「ガラス導光板」

2016年
5月

「平成28年熊本地震」に対する義援金を寄付

中電グループは、4月に発生した熊本地震の被害に対し、被災者の救済及び被災地の復旧・復興に役立てていただくため、日本赤十字社を通じ、義援金として300万円を寄付しました。

5月25日、日本赤十字社広島県支部において、役職員有志一同からの義援金370万8千円と併せて、目録を贈呈しました。



▲目録贈呈の様子

2016年
6月

地域環境保全活動

毎年6月に全国的に実施される「環境月間」及び、中国電力グループ全体で実施する「エネルギーグループ環境月間」に協調し、省エネ・省資源活動の啓発や地域清掃などの地域環境保全活動を実施しました。

全店で51件、548人の社員が参加しました。



▲沿道のごみ拾い及び除草作業



▲特別養護老人ホームの空調機器清掃

会社概要 (2016年9月30日現在)

設立年月日	1944年(昭和19年)9月29日
資本金	34億8,190万5,850円
従業員数	3,585名
主要な事業内容	屋内電気工事、空調管工事、情報通信工事、配電線工事、発送変電工事の設計施工
本店	広島市中区小網町6番12号
主要な事業場	広島・岡山・山口・島根・鳥取統括支社 東京・大阪本部、九州支社、電力建設所

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式6,763,164株を除く)	58,374,953株
株主数	5,625名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中国電力株式会社	24,392,259	41.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・ 株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	1,673,900	2.87
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	1,673,400	2.87
株式会社中国銀行	1,398,619	2.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,383,400	2.37
株式会社山陰合同銀行	1,256,481	2.15
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	1,235,500	2.12
明治安田生命保険相互会社	1,129,465	1.93
株式会社山口銀行	1,000,279	1.71
株式会社広島銀行	936,180	1.60

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式6,763,164株を控除して算出しております。

役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役会長	神出 亨	取締役常務執行役員	熊崎 村夫
代表取締役社長	小畑 博文	取締役(社外取締役)	榎田 好一
代表取締役副社長執行役員	畝 由紀男	取締役(社外取締役)	見立 和幸
取締役常務執行役員	金山 隆幸	常任監査役	四方田 茂
取締役専務執行役員	法宗 亨昭	監査役	廣田 充
取締役専務執行役員	國木 恒久	監査役(社外監査役)	椎木 タカ
取締役常務執行役員	伊藤 聖彦	監査役(社外監査役)	川平 伴勅
取締役常務執行役員	堤 孝信	監査役(社外監査役)	松村 秀雄
取締役常務執行役員	緒方 秀文		

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会開催時期	毎年6月中
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関

同事務取扱場所・問合せ・郵便物送付先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)
自動音声応答サービス
0120-684-479 (通話料無料)

公告方法

電子公告により、当社ウェブサイト
(<http://www.chudenko.co.jp/info/topic/news.html>)
に掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、広島市において発行する中国新聞ならびに日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 株式会社東京証券取引所

重要なお知らせ

特別口座の株主さまへ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社等の口座で電子的に管理されるようになりました。株券電子化移行時点で、証券会社を通じ株券を「株式会社証券保管振替機構」に預けられていなかった株式、あるいは単元未満登録株式等株券が発行されていない株式など、証券会社の株主さまの口座で電子的に管理されなかった株式は、株主権保護のため、当社が株主さま名義で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座にて電子的に管理しています。

しかしながら、特別口座に記録された株式は、このままでは証券市場での売却等ができないばかりか、相続手続きが煩雑になるなど制約がございます。

つきましては、次の当社特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へご連絡のうえ、「口座振替申請」のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

単元未満株式(100株未満の株式)をお持ちの株主さまへ

当社の株式は、100株が1単元(売買単位)となっており、100株に満たない株式(単元未満株式)は、市場で売却することができません。

単元未満株式は、当社に対して買取請求(売却する)、または買増請求(買い増して100株にする)ができますので、ご検討いただけますようお願いいたします。

【お問い合わせ・ご請求先】

① 証券会社に単元未満株式をご所有の株主さま
株主さまの口座がある証券会社

② 特別口座に単元未満株式をご所有の株主さま
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

ご注意 このお知らせは、口座振替申請・買取請求等を強制するものではありません。本手続きに際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願いいたします。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキ
(ベジタブルインキ)を使用
しています。